

ふじのくに津波対策アクションプログラム（短期対策編）の推進

（危機管理部危機政策課）

1 背景

平成 23 年 3 月の東北地方太平洋沖地震に伴う大津波により東日本の太平洋沿岸地域を中心に甚大な被害が発生し、本県は被災地への支援活動等を通じて多くの教訓を得た。

これを踏まえて、4 月 15 日に「静岡県津波対策検討会議」を設置し、ソフト・ハード両面から、これまでの津波対策の総点検を行い、実施可能なものは直ちに行うこととした。

さらに、例年 7 月の第一週に実施している津波避難訓練を、5 月 21 に緊急津波避難訓練として前倒しで実施した結果を踏まえ、津波対策について検討を行った。

2 ふじのくに津波対策アクションプログラムの策定

- ・ 4 月に立ち上げた県や市町の津波対策担当者等で構成する「静岡県津波対策検討会議」と 8 月に設置した日本のトップクラスの津波工学等の専門家で構成する「津波対策分科会」を車の両輪として、沿岸市町の避難場所、避難経路、避難施設、津波避難ビルの耐震性、耐浪性、高さなどの避難計画の点検及び住民等の避難の徹底と、津波対策施設の機能点検の徹底などソフト面からハード面まで再検討を行った。
- ・ 再検討の結果を踏まえ、早急に取組む必要な対策を早期に完了させるための数値目標や達成時期を定めた「ふじのくに津波対策アクションプログラム（短期対策編）」を 9 月に策定し、計画的に推進している。

3 主な取組み

- ・ 災害時における情報伝達の強化促進
- ・ 市町津波避難計画の策定促進
- ・ 津波標識の設置
- ・ 津波避難施設の充実
- ・ 津波避難訓練の充実強化
- ・ 津波避難地、津波避難路の整備及び耐震調査の実施
- ・ 津波対策水門・津波対策堤防施設の整備 など